

地域の数だけ、“問題雑草”がある。

除草剤を使っても、残ってしまう雑草って、ありませんか？
そんな雑草が、全国各地で問題になっているのです。



500ml

1ℓ



スギナ



イヌタデ



イチビ



マルバツユクサ



イボクサ



アメリカアサガオ



アメリカフウロ



スベリヒユ



クサネム



エノキグサ



イヌスギナ



ツユクサ

※地図中の同心円はイメージであり、雑草発生地域を特定するものではありません。

“問題雑草”なら、迷わずバスタ。
いままで枯れにくかった雑草にも、高い効果を発揮します。



作物まわりの
除草なら、バスタ。



人畜や有益昆虫、
水産動植物に安全。



成分が
土に残らず安心。



幅広い
登録作物数。

安心と安全の

バスタ 液剤
農林水産省登録第20958号
®は登録商標



Bayer CropScience

■バスタの登録内容（2006年3月現在）

*印は収獲物の残留回避のため、その日まで使用できる収獲（摘採）前の日数を示します。

**印は本剤及びその有効成分を含む農薬の総使用回数の制限を示します。

作物名 〔 〕は適用場所	適用雑草名	使用時期*	10アール当り 使用量（mL）	総使用 回数**	作物名 〔 〕は適用場所	適用雑草名	使用時期*	10アール当り 使用量（mL）	総使用 回数**
かんきつ りんご	畑地一年生雑草	21日	300～500		えだまめ	畑地一年生雑草	は種前または 畦間処理	14日	3回
	畑地多年生雑草		500～1,000		オクラ		は種後 畦間処理	前日	
ぶどう、なし おうとう、かき もも、うめ ネクタリン、ブルーベリー	畑地一年生雑草	前日	300～500		なばな		は種前または 畦間処理	21日	2回
	畑地多年生雑草		500～1,000				は種前		
びわ	畑地一年生雑草	21日	300～500	3回	かぶ		定植前		3回
	畑地多年生雑草		500～750				畦間処理	21日	
いちじく	畑地一年生雑草	前日	300～500		にら さやいんげん さやえんどう		は種前		3回
いちよう（種子）	畑地多年生雑草	14日	500～1,000				定植前		
くり	畑地一年生雑草	30日	300～500		ブロッコリー		定植前または 畦間処理	21日	2回
	畑地多年生雑草		500～750		にんにく		植付前または 畦間処理	前日	
キャベツ、はくさい	畑地一年生雑草	定植前 または 畦間処理	300～500	2回	しょうが	雑草生育期	は種前		3回
きゅうり、なす ピーマン とうがらし類 トマト、ミニトマト		前日		3回	食用ぎく		定植前		2回
だいこん はつかだいこん		は種前または 畦間処理		2回	小麦		畦間処理	14日	1回
メロン、レタス 非結球レタス かぼちゃ		定植後 畦間処理		1回	水田作物 〔水田耕起前〕		は種前		
にんじん		は種前		2回	水田作物 〔水田畦畔〕		（春期耕起前） 30～15日		2回
アスパラガス		萌芽前または 畦間処理		2回	水田作物 〔休耕田〕		（草丈 30cm以下）	7日	
いちご		定植前		3回	茶	畑地一年生雑草	（草丈50cm以下）		3回
すいか、ねぎ		定植後 畦間処理		2回	たばこ		畦間処理	7日	2回
たまねぎ		定植前または 畦間処理		3回	日本芝 （こらういしば）		大土寄期畦面処理		3回
さといも やまのいも		植付後 畦間処理		2回	桑		芝休眠期		1回
かんしょ		播種後 畦間処理		3回	りんどう	一年生雑草	春期萌芽前及び 夏切後萌芽前 畦間処理 （草丈20cm以下）		3回
こんにゃく		植付後萌芽前		2回	樹木類				
ばれいしょ		畦間処理		3回	樹木等				
大豆（種実、但し らっかせいを除く）		植付後萌芽直前		1回	〔適用場所：公園 庭園、堤とう、駐車場 道路、運動場、宅地 のり面、鉄道等〕	多年生雑草	雑草生育期		3回
		は種前または 畦間処理		1回					
		28日	300～500	3回				1,000～2,000	

〔使い方〕希釈水量10アール当り100～150ℓを雑草茎葉散布。

ただし、適用場所：公園、庭園、堤とう、駐車場、道路、運動場、宅地、のり面、鉄道等は100～200ℓを植栽地を除く樹木等の周辺地に雑草茎葉散布。

■上手な使い方

各作物での使用薬量については、ラベルの記載に従ってください。

一年生雑草

200倍～300倍

多年生雑草

100倍～150倍

■注意事項

- 使用量に合わせ薬液を調整して、使いきってください。展着剤は必要ありません。
- 本剤は土壌に落下すると速やかに不活性化して、効果が現れません。薬液が雑草の茎葉全体に均一にかかるように散布してください。雑草が大きくなると不経済で作業も大変です。草丈15～30cmを目安に散布してください。
- 散布後6時間以内の降雨は効果が減することがあります。天候をよく見極めてから散布してください。
- 作物に薬液が付着すると薬害が生ずるので、散布液が付近の農作物、樹木の茎葉に飛散しないように散布してください。特に、野菜類の生育期畦間散布や水田畦畔で使用する場合は作物にかからないように、十分注意して散布してください。
- 芝に散布する場合、生育中の芝には薬害が生ずるので使用しないでください。また、芝の休眠直後や萌芽期に近くなってからの散布では萌芽抑制などの薬害を生ずることがあるので、芝が完全に休眠している時期に散布してください。
- 使用量、使用時期、使用方法を守ってください。本剤を適用作物群に属する作物又はその新品種に使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してください。なお、病害虫防除所など関係機関の指導を受けることが望ましいです。

- 公園、堤とうなどで使用する場合は、散布中および散布後（少なくとも散布当日）に小児や散布に関係のない者が散布区域に立ち入らないよう縄囲いや立て札を立てるなど配慮し、人畜等に被害を及ぼさないよう注意を払ってください。
- 水源等地に本剤が飛散・流入しないように十分に注意してください。
- 散布器具、容器等の洗浄水は河川等に流さず、空容器は圃場などに放置せず、環境に影響を与えないように適切に処理してください。
- 本剤は眼に対して刺激性があるので眼に入らないように注意してください。眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当てを受けてください。
- 本剤は皮膚に対して刺激性があるので皮膚に付着しないように注意してください。付着した場合には直ちに石けんでよく洗い落とすしてください。
- 散布の際には防護マスク、不浸透性手袋、不浸透性防除衣などを着用してください。散布液を吸い込んだり、浴びないように注意し、作業後は手足、顔などを石けんでよく洗い、うがい、洗濯してください。



（F-3030 06.03.IS）

●使用前にはラベルをよく読んで下さい。●ラベルの記載以外には使用しないで下さい。●本剤は小児の手の届く所には置かないで下さい。

バイエルクロップサイエンス株式会社

東京都千代田区丸の内1-6-5 〒100-8262 www.bayercropscience.co.jp